



びすてむ通信

VOL.186 2020年2月号



先輩とのお別れ

先日、前の会社の上司から 突然電話がありました。「Aさ んが亡くなった」という連絡で した。最初は冗談だと思って いたのですが、本当でした。 Aさんは私にとって大切な先 輩でした。社会人になりたて だった私の指導係として、た くさんの事を教えてくれまし た。上司から叱られた時は 「あの人だって、もっと上の 人から言われて仕方なく言っ てるだけだから、気にしなく ていいよ」とか「今回の件は あなたに非があるから、ちゃ んと受け止めなくちゃいけな いよ」とか、心のケアまでしっ かりとしてくれる人でした。か と思えば、一緒に飲みに行 けば、率先して冗談を言い、 周りの人達を笑わせていま した。あの当時、何回一緒に 飲みに行ったかな~。たぶ ん、週に1度は一緒に飲んで いた気がします。私にとって 今までの人生で一番尊敬で きる先輩だったし、今の私を 作ってくれたのも、その先輩

でした。そんな思い出と、悲 しみを抱えてお通夜に参加 しました。すると…会場には 300人。いやたぶん400人は いたでしょうか。会場に入り きらない人で溢れていまし た。お焼香が終わるのに、 1時間以上かかるほどの人 でした。そんな光景を見て 「先輩、良かったですね。こ んなにたくさんの人が会いに 来てくれましたよ!」なんて 思いながら焼香をしました。 その後、最後のお別れがし たくて、小さな箱の中に納 まった先輩の顔を覗き込み ました。私の顔を見て、「な んだ~! 久しぶりじゃん!!元 気だった?」って話しかけて くれる姿を想像したのです が、やっぱり目を閉じたまま でした。先輩の顔を見た途 端、ブワッと涙が溢れてきて しまいました。一緒に過ごし た日々の思い出が、頭の中 を埋め尽くしました。そんな 状態でしたので、ちゃんとお 別れもできないまま、会場を



出てしまいました。なんだ か、ちゃんとお別れもできな かったな…と思い、翌日のお 葬式にも出席しました。その 日も200人を超える人が来て いて、会場の中は立ち見で ギュウギュウでした。今日は 2日目だから少しは冷静でい られるかな…って思っていた のですが、会場に入った途 端涙が止まりませんでした。 でもちゃんとお別れをした かったので、何度も何度も 「今までありがとうございまし た!」って心の中で叫びまし た。その先輩がいつも言って いました。「会いたい人には すぐに会おう。大切な人との 繋がりを遅らせてはいけな い。」と。先輩の大切な言葉 を、これからずっと忘れない ように、ちゃんと行動に移し ますね!先輩、空の上で ユックリ休んでくださいね!

*り*みんなの ひとり言

先日、社長が車イスの 修理をしていました。 清野さんが「社長?何 やっているんですか? 」と聞くと「車イスの パンクを直してるんだ よ」って答えていまし た。いや…それは見れ ばわかります…。なん で会社でパンクを直し ているのかを聞いてい るんだと思います…。 なんて思っていたら、 「これも仕事のうちさ !」なんてドヤ顔で答 えていました。社長… うちって確か文房具屋 さんですよね??でもパ ンクの修理までやっち ゃうなんて、逆にすご いですね…なんだか少 し感心してしまいまし た(笑)



喜んでいただけました!のコーナー!

先日、お客様から「ノートを 区切ることが出来る定規つせ がありました。私も知らなかったのですが、昨年末に規 売された、iitenという定規で した。ノートを3分割とか2分割にすることが出来る優れるのです。しかし調べてみたら 10本単位でしか、入荷する 事ができない商品でした。お 客様にその旨を説明すると、「さすがに10本もいらないない。・」という返事でした。そこで 社長に相談したら「残りはお店で売ればいいよ」という事で、その商品を10本仕入れて、1本をお客様にお渡した。お客様も大変喜んでいただけました。今回のように私達も知らない文房具がまだまだたくさんあります。皆さんも気になった文房具がありましたら、教えてくださいね!

この図でわかります?→





過去にこだわる者は 未来を失なう

(ウィンストン・チャーチル)

昔から「強い者が生き残る のではない。変化に柔軟に 対応した者だけが生き残る」 って言われますよね。それに 近い感じですね!